



シラバス参照

タイトル「2014年度 経済学部シラバス」、フォルダ「2014年度 経済学部シラバス-専門科目(経済学科開設科目)」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	社会思想史		
担当教員	菊谷 和宏		
対象学年		クラス	E1
講義室		開講学期	後期
曜日・時限	火 5	単位区分	
授業形態	講義・演習	単位数	2
準備事項			
備考	標準履修年次 2・3年生		
科目名(英語表記)	History of Social Thought		
開設学科	経済学科		
研究室			
オフィスパワー			
授業の概要	自然科学がその研究対象として「自然」を持っているのと同様、経済学をはじめとする社会科学は研究対象として「社会」を持っている。しかし、この「社会」なるものは、人間に初めから与えられていたわけではなく、むしろ、歴史的に創造されてきたものである。本授業では、社会諸科学が一種自明の前提と置いているこの「社会」概念の歴史について、フランス社会科学とその背景史を学びつつ、相互に議論する。		
授業計画	以下の順で講義するが、参加者の意欲や希望、理解度に応じて調整する。また、適宜レジュメを作成し発表してもらう。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	問題設定	
	3	トクヴィル1-超越性、世界、人間	
	4	トクヴィル2-1848年二月革命、世俗世界の分離、「社会それ自体」	
	5	トクヴィル3-「人間」「社会」「社会科学」の誕生	
	6	デュルケム1-実証科学としての社会学、物としての社会的事実	
	7	デュルケム2-第三共和制	
	8	デュルケム3-ドレフュス事件	
	9	デュルケム4-トーテム原理	
	10	ベルクソン1-意識、持続、自由	
	11	ベルクソン2-生命の原理としての創造的自由	
	12	ベルクソン3-経験の拡張、第三共和制の変質	
	13	ベルクソン4-社会、人類、愛	
	14	共に生きるということ	
15	まとめと試験		
到達目標	現代社会の諸問題を根源的に規定している、我々自身の社会認識のあり方の歴史的特殊性を理解し、これをオリジナルな文章で表現できること。		

成績評価方法	定期試験80%+レポート20%
教科書	菊谷和宏(著)『「社会」の誕生』、講談社(選書メチエ)
参考書	菊谷和宏(著)『トクヴィルとデュルケーム』、東信堂。 大野道邦(編)『フランス社会学理論への挑戦』、恒星社厚生閣。 新原道信ほか(編)『地球情報社会と社会運動 同時代のリフレクシブソシオロジー』ハーベスト社。
授業時間外学習	準備学習と復習にそれぞれ最低30分、さらに授業内容に関連する課題に関する調査・考察に約1時間、合計して授業1回につき2時間程度、自主的に学習することが必要です。
受講を推奨する関連科目	社会哲学、社会関係論、社会科学原論
履修上の注意・メッセージ	授業中の質問等、積極的な発言を歓迎し高く評価する。連続性を持った講義であり、理解のためには毎回の出席が必要である。現代社会の諸問題の根底、現代社会科学の根底について自ら考える努力を惜しまない者にとっては、刺激的で楽しい授業になると思う。遅刻、講義中の私語および居眠りは、真摯な議論・真剣な思考を妨げるので厳禁する。

